



令和5年度入学式～ようこそ！171名の新入生の皆さん～

暖かな春の日差しを受け、4月12日、令和5年度入学式を行いました。緊張しながらも、しっかりと背筋を伸ばし入学式に臨んだ新入生を頼もしく思いました。5つの小学校で学んできたことの良さを生かし、新たな仲間と共に、充実した中学校生活を送れるよう、全職員一丸となって、サポートしていきます。



歓迎の言葉

温かな日差しが降り注ぐ中、花の便りが次々と舞い込み、春の訪れを感じるこの佳き日。石岡中学校に入学される171名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私たち在校生一同、皆さんのご入学を心待ちにしていました。皆さんは今日、どんな気持ちでこの会場にやってきましたか。新しい生活への希望や期待、不安…それぞれの思いを抱きながら、今、この会場にいることと思います。

二年前の私も、大きな期待を抱きながらも、新しい友達ができるか少し不安を抱えていました。そんなとき、私はあることをして、その不安を解消しました。それは、「笑顔で挨拶をすること」です。挨拶は一言で、人と人との間の壁を壊して、心と心をつなぐ力を持っています。皆さんは、今日、同じクラスの仲間たちに挨拶をしましたか。ぜひやってみてください。この小さな一言から、様々な交流が生まれ、たくさんの友達をつくるきっかけになると思います。

ここ石岡中学校は、歴史と伝統のある学校です。「輝」のスローガンのもと、一人ひとりが互いを認め合い、個性の光る学校づくりを目指しています。私たちは数多くの先輩方が築き上げてきた伝統を引き継ぎ、発展させ、さらに良い学校にするために、日々活動を続けています。また、小学校よりも生徒数が多いため、学校行事はとて盛り上がりやすいです。体育祭では、クラス対抗で優勝を争うので、団結することの大切さを学ぶことができます。文化祭で行う合唱コンクールでは、各クラスが金賞を目指して練習し、仲間とともに一つのことを成し遂げる感動を経験することができます。このほかに、校外学習や修学旅行は、絆と友情を一層深めることができます。そして部活動では、先輩や仲間たちと一つの目標に向かって毎日練習することで、学校行事とは違った達成感や上級生とのつながりを得ることができます。今日から皆さんは、私たちの仲間です。小学校とは環境が大きく変わりますが、皆さんにはこれから三年間を共にする仲間がいます。支えてくれる先生がいます。そして私たち二、三年生がいます。私たちは皆さんが一日でも早く中学校生活に慣れ、充実した生活を送れるように全力でサポートします。分からないこと、困ったことがあったら、何でも聞いてください。

最後に、これから皆さんと一緒に石岡中学校をさらに良い学校にしていけることを期待して歓迎の言葉といたします。 在校生代表 渡邊 志帆

新入生代表挨拶

早春のやわらかい光を受け、校庭を彩る桜の木々にも春の息吹がみなぎっています。喜びと希望に満ちあふれた今日、私たち新入生171名は伝統ある石岡中学校への入学の日を迎えました。

本日は新型コロナウイルスの影響がまだまだ残る中、私たち新入生のために、このような温かく、心のこもった入学式を行ってくださり、ありがとうございます。また、先ほどは校長先生より祝福と励ましのお言葉をいただき、ありがとうございました。

今、私たちは新しく始まる中学校生活への期待と希望でいっぱいです。中学校では、勉強する科目ごとに先生が変わり、より専門的な学習ができるので、とても楽しみです。また、部活動では、同じ目標をもつ良き仲間と共に協力し、時にはライバルとして精一杯努力していきたいと思えます。

今日から新しい生活が始まります。学校生活の中では、様々な困難に直面し、立ち止まってしまうこともあると思えます。そのようなときには、校長先生を始めとする諸先生方、時に厳しく時に優しくご指導のほど、よろしく願いいたします。

本日私たちがこの入学式を迎えることができるのも、小学校でお世話になった先生方や、地域の皆様、そして何より、私たちをここまで育てていただいた家族の支えのおかげです。これまでの感謝の気持ちを忘れずに一生懸命頑張っていきます。

最後になりましたが、私たちは石岡中学校の生徒として先輩方が築いてきたよき伝統を受け継ぎ、仲間との絆を深め、何事にも全力を尽くすことを誓い、新入生代表挨拶とさせていただきます。

新入生代表 小池 亮